

トラックドライバー 時間短縮に関する 改善取組み報告書

2023年3月

総武物流株式会社

トラックと倉庫作業の見える化による発地（荷主側）での滞留時間の短縮

1. 実施者の概要

- ▶ 社名：総武物流株式会社
- ▶ 事業内容：食料品・酒類の運送
- ▶ 主な荷主：A食品株式会社

2. 事業概要（現状⇒改善取り組み）

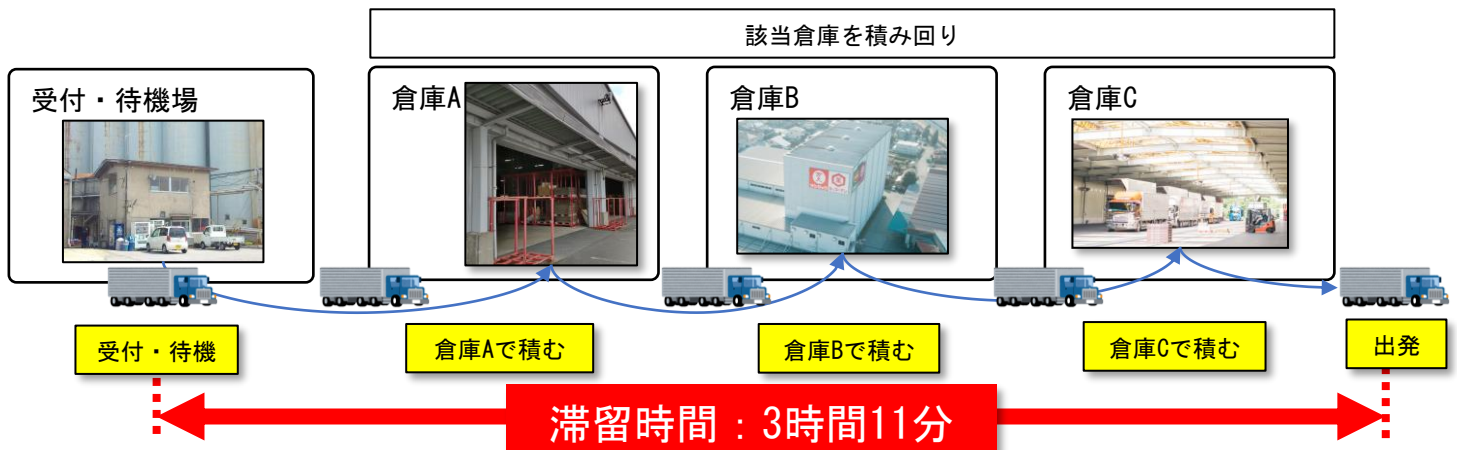
▶ 対象事業

千葉県野田市内の荷主倉庫から主に首都圏・関東の得意先及び全国荷主倉庫への配送
※業務システム=WMSによる在庫・入荷・出荷管理

- ①市内に点在している複数の荷主倉庫から積み回りしての配送
- ②トラックドライバーの動き：
事務所での受付⇒伝票受け取り⇒野田市内の各倉庫へ移動

▶ 現状把握

- ・発地での滞留時間（受付してから出発までの時間）は**3時間11分**（2019年4～7月平均）と判明 ※WMSシステムデータより解析



▶ 現場観察による課題

- ①倉庫作業者に正確な情報を迅速に伝える手段がないため、刻々と変化する出荷作業の優先順位が現場に伝わらない
- ②ドライバーの移動状況や倉庫側の準備状況がわからず、ドライバーの荷待ちが発生し、長時間滞留の要因となっていた
- ③ドライバーからのクレーム等での現場作業員の精神的負担の増加していた

いつまで経っても荷物が積めない

残り1パレットが出てこない

▶ 改善取り組み方策

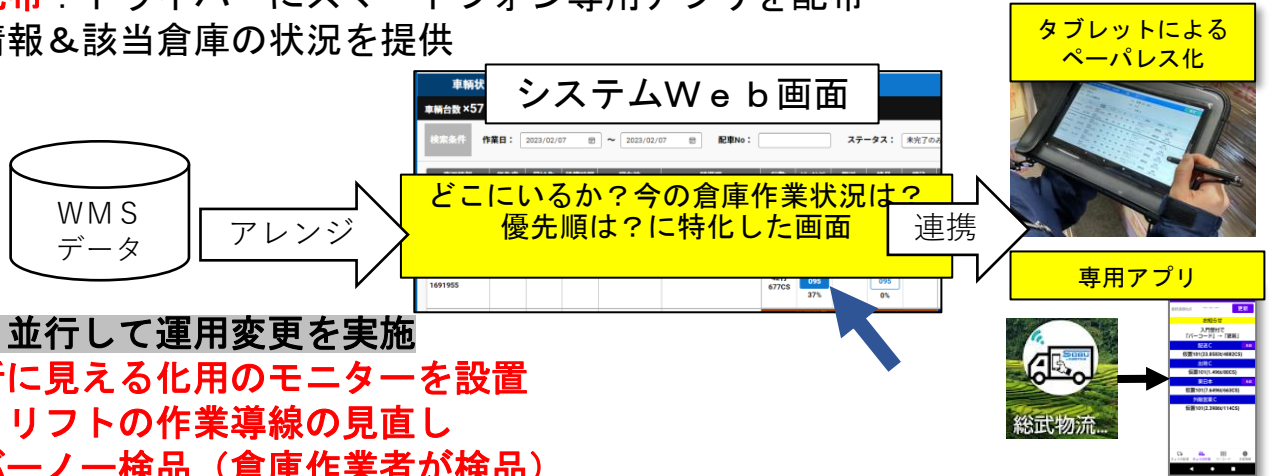
- ①トラックと倉庫作業の見える化に特化したシステムを開発・導入する
管理者がWeb画面で出荷優先順位を指定し、各倉庫に設置したモニターで作業者が確認することで、優先順に出荷準備を行う
- ②タブレット利用によるペーパーレス化
作業者全員が常に手で内容を確認・操作し出荷準備（ピッキング・検品）を行う
- ③運用の変更
作業導線の見直しや役割負担の変更など、システム化と並行して現場改善を行う

▶ 取り組みに対する目標・成果

- ①目標：滞留時間3時間11分（2019年4月～7月平均）に対し、継続して**1時間短縮**
- ②結果：滞留時間**△1時間**を2年間継続して達成（2021年度～2022年度）
- ③今後：倉庫運用の改善によりさらなる滞留時間の**削減△1時間**を目指す

3. 改善後の現場運用

- ▶ **トラック誘導システムの開発・導入**（2019年度より開始・逐次バージョンアップ中）
WMSの一覧データをアレンジして倉庫作業者が一目で状況が分かる一覧画面を作成
 - ①**見える化**：ドライバーがどの倉庫にいるか？倉庫の作業は終わっているか？を表示
 - ②**優先指示**：Web画面上から優先順を指定することで出荷の順番を明確にした
 - ③**タブレット**：タッチ操作によるピッキング・検品業務を実施する
→管理者が行かなくても倉庫作業者が手元で状況を見て優先順に沿って作業できる
→ペーパレス化により紙の受取りがなくなりフォークの乗降りなく作業を継続できる
 - ④**アプリ配布**：ドライバーにスマートフォン専用アプリを配布
→位置情報&該当倉庫の状況を提供



▶ システムと並行して運用変更を実施

- ①倉庫各所に見える化用のモニターを設置
- ②フォークリフトの作業導線の見直し
- ③ドライバーノー検品（倉庫作業者が検品）
- ④初心者ドライバーへビブスを着用してもらい目立たせることで優先的に指導



4. 改善取組み成果まとめ

- ▶ **トラック滞留時間短縮の目標達成**
1時間短縮を2021年度に達成し、以降継続中
見える化のシステム導入と優先指示の運用変更により徐々に滞留時間が減少
- ▶ **ペーパレスによる印刷用紙・プリンタ利用の削減**
年間50万枚(1,300千円)のコスト削減

実施年度	滞留時間	結果
2019年度	2時間42分	▲29分
2020年度	2時間24分	▲47分
2021年度	2時間09分	▲62分
2022年度	2時間07分	▲64分

5. 荷主企業・元請事業者のメリット

- ▶ ドライバーの労働時間短縮につながり、運送協力会社からの評価を高めることができた
- ▶ 倉庫作業者の時間外労働時間の大幅短縮に貢献できた
- ▶ 各作業のデータを蓄積、分析することで、今後のDX推進に繋がる

6. 結果に結びついたポイント

- ▶ 社長をプロジェクトリーダーとし全社体制で取り組んだことが目標達成につながった
- ▶ 配車・倉庫作業指示等にトラックドライバー視点を折り込み、1台毎に時間管理を行い、“見える化”したことが好結果につながった

7. 今後の展開（2024年問題を見据えて）

- ▶ 野田市内の出荷倉庫を1カ所に集約し倉庫間の移動ロスを減らし滞留時間を更に削減
- ▶ トラック誘導システムをバージョンアップし、ドライバーがスマートフォンで倉庫入場を予約するシステムを提供し、バース管理の強化と倉庫作業の効率化を図る